

新潟県で豚熱発生

8月14日、新潟県新発田市の農場において、国内93例目（新潟県での発生は初めてとなります）となる「豚熱（CSF）」の発生が確認されました。

防護柵・防鳥ネット等の点検を行い、病原体の侵入防止対策を徹底しましょう。

夏季休暇中の人や物の往来の多い時期ですので、ウイルスを農場へ侵入させないよう、これまで以上に飼養衛生管理基準（畜舎周囲の消毒、長靴や衣服の交換、毎日の健康観察、野生動物侵入防止等）の遵守徹底をお願いします。

【発生農場の概要】

所在地：新潟県新発田市 飼養頭数：約450頭

【経緯】

- 8月13日、新潟県は同県新発田市の農場から子豚の死亡頭数が増加している旨、通報があり病性鑑定を実施。
- 新潟県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門^(注)にて精密検査を実施。
(注)国内唯一の動物衛生に関する専門研究機関
- 8月14日：豚熱の患畜であることが判明。

【対応】

- 当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却等の必要な防疫措置の実施。
- 農場の消毒や農場への野生動物の侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守に関する指導の徹底。